

大会の実施方法について ～サッカーチャレンジ～

新型コロナウイルスを含む感染症防止対応を実施した上で、ジャパンオープンへの推薦チームの選抜と、参加者の日ごろの活動成果の発表及びフィードバックの場の提供を目的に実施します。変則的な実施となりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

1. 新型コロナウイルスを含む感染症防止対応

(ア) 対応方針

- ① 手洗い、マスク着用を含む咳エチケットの徹底
- ② 体調管理の徹底
- ③ 三密(密集, 密接, 密閉)の回避

(イ) 具体的な対応

- ① 学校に通う時と同様に、体温の測定、マスク着用、手指消毒をお願いします。
- ② 風邪症状があるなど体調が悪い場合は、参加できません。
- ③ 会場で検温を実施し、発熱が確認された場合は、参加できません。
- ④ 参加者数の倍以上の収容可能、かつ、定期的な換気の可能な会場で実施します。
- ⑤ 大会会場に入れるのは、競技スタッフと、児童生徒、帯同者2名/チームのみとし、一般見学者の入場は制限します。
- ⑥ 会場には、競技をするチームだけが入れるようにし、1チーム辺りの滞在時間を最短にします。(ノード大会=90分、ブロック大会=180分)
会場内を5チーム以下になるように制限します。

(本書末尾にノード大会&ブロック大会のスケジュール案を示します。)

ノード大会の各チームのスケジュールは以下。

受付 10分	車検/調整 30分	規定 1回目 10分	調 整 5分	規定 2回目 10分	調整 5分	規定 3回目 10分	片付/退場 10分
-----------	--------------	------------------	--------------	------------------	----------	------------------	--------------

- ⑦ ノード大会では対戦型ではなく、サッカーの要素を分解した「規定課題」にて評価します。(資料「サッカー・ノード選抜方法2021」をご覧ください。)
- ⑧ 受付は時間指定となりますので、時間厳守をお願いします。
- ⑨ 開会式、閉会式、集合写真撮影は実施しません。
- ⑩ フィールド、パドックなどは、密にならないように配置します。
- ⑪ 会場は建物内飲食禁止です(水分補給等は屋外でお願いします)。
- ⑫ 出入口に消毒液を設置し、入れ替え時にパドック、フィールドなどの共用部分の消毒を実施します。
- ⑬ 大会結果は、後日、広島ブロック HP に公開し、表彰状は、後日、電子データで送付します。

注記) 現時点想定している実施方法であり、新型コロナウイルスなど状況によって今後変更する場合があります。

各フィールドへは競技中のチームおよび主審・副審のみが立ち入り可能です。
各調整フィールドは、1チームのみ使用可能で、複数チームによる同時使用はできません。
各調整フィールドに予約表を書いて運用します。

2. ブロック大会&ジャパンオープン選抜方法

■ノード大会：

技術をきちんと評価する目的で、ノード大会では「規定課題」による評価を実施します。実機競技結果により、順位上位チームから推薦チームは決定することを基本としますが、競技実施が困難な場合は、提出資料に技術評価により、推薦チームを決定します。

■ブロック大会：

今まで通り、対戦による選抜を行います。

順位上位チームから推薦チームは決定することを基本としますが、競技実施が困難な場合は、提出資料に技術評価により、推薦チームを決定します

(感染予防/3密対策のため、最小限の人数&チームに絞ります。)

3. 実機競技の実施要領(案)

① 実施カテゴリー

- 日本リーグ・サッカー
- ワールドリーグ サッカー・ライトウェイト

② 適用ルール

- 日本リーグ・サッカー
[ロボカップジュニア サッカールール日本リーグ版 2020](#)
- ワールドリーグ サッカー・ライトウェイト
[RoboCupJunior Soccer Rules 2020 日本語版](#)

※但し、試合時間は短縮します。(エントリー数によって検討する)

4. 活動成果の発表及びフィードバック

- 結果発表は、広島ブロック HP 上で公開します。
- 技術委員からのフィードバックは個別に連絡します。
(ノード大会=指定課題終了後にアドバイス、ブロック大会=個別連絡)

以上